

(様式第6号 別紙)

長崎県福祉サービス第三評価結果報告

① 第三者評価機関名

有限会社 医療福祉評価センター

② 事業者情報

名称：デイサービスなかやま	種別：生活介護
代表者氏名：佐竹 真	定員（利用人数）： 20名
所在地：諫早市福田町 357-4	TEL：0957-22-2644

*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

③ 施設・事業所の特徴的な取組

法人本部に隣接する場所にあるデイサービスなかやまは、短期入所、地域密着型通所介護・共生型放課後等デイサービス、訪問看護ステーション、診療所が併設している。建物自体は、年数が経っているとのことであるが、一部改装をしたり、掃除が行き渡っており、事業所内は清潔に保たれている。改装した際、木材を使っており、木のぬくもりが感じられる事業所であった。

ここでは、在宅やグループホームで暮らす障がいのある方々が、楽しく一日を過ごせるよう、送迎・食事・入浴はもちろん、乗馬やプール、音楽、園芸、陶芸など多彩なサービスメニューから選べるようになっている。また、季節に応じた行事や社会体験活動にも力を入れている。

事業所の大きな特徴として、年始1月1日～3日以外は、事業所を開所しており、利用者や家族に寄り添ったサービスを行っている。また、他の事業所では馴染めない等の理由で、利用を開始する利用者もあり、デイサービスなかやまに相談すれば糸口が見つかるのではという安心感を提供している事業所でもある。

④ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 元年 7月 1日（契約日）～ 令和 2年 2月 19日（評価結果確定日）
受審回数	今回が初めて

⑤総評

◇特に評価の高い点

①理念やビジョンの浸透

法人のミッション、「生きる誇りへの、挑戦」、ビジョン～私たちの行き先～「人生は楽しい」、南高愛隣会バリュー「人生にドキドキを、地域に元気を、時代に勇気を」と分かりやすい言葉で理念やビジョンが策定されている。利用者ひとりひとりの「～したい」はささやかでもそれらはひとつの大きなエネルギーとなって、「幸せ」の障がいを打ち壊し、全く新しいボーダレスな世界をつくっていくことも、法人が目指している。そこに、「人生は楽しい」という行き先が見えてくることにつながっている。デイサービスなかやまも、この理念のもと、障がいがあっても何かに挑戦する、「～したい」を実現するための支援を行っており、訪問調査当日、利用者も職員も常に笑顔であり、いい支援をしているとの表れである。これは、「人生は楽しい」ということが、職員はじめ利用者にも浸透している結果である。

②進化を常に考えた取り組み

デイサービスなかやまでは、IT0プロジェクトを立案して実施をしている。「IT0」というのは、「糸、思いをつなぐ、つむぐ」という意味でつけられた言葉である。このプロジェクトは、利用者の誕生日の月に利用者がしたいことを叶えるプロジェクトであり、これまでDVDを映画館で見る、花壇の花のお世話をするなどの、希望を叶えている。標準的なケアのみするのではなく、職員が自ら考え、立案して取り組む姿勢が表れている。

③ 生きる誇りへの挑戦の実践

法人のホームページの理念・ビジョンの箇所に、「障がいのある方にとって、いちばんの障がいは、挑戦するチャンスがないことでした」と記されており、それは「生きる誇りへの、挑戦」というミッションとなっている。その挑戦は、利用者だけではなく、職員も挑戦して一緒に成長ができるよう、理念浸透研修の中で、「生きる誇りへの挑戦」の対象者を発表し、職員の士気をあげる要素ともなっている。生きる誇りへの、挑戦を実現するために、気づく、決意、行動するという分かりやすい説明もあり、この気づく力は、うれしそうか？悲しそうか？何をすると喜ぶか？何をしたいのか？と具体的に例示されている。この気づく力がミッション実現の第1歩でもあり、日々利用者とともに、職員も挑戦できるよう法人全体で、取り組んでいる。

◇改善を求められる点

①法人の仕組みを事業所への浸透

法人内でマニュアルや規程が整備され、土台となる法人としての仕組みは確立されている。職員も正社員、非常勤など多種多様であり、一人ひとりに価値観の違いが出ることが想定される。職員一人一人の考え方が、法人の考え方と相違が出ないよう、法人として統制がとれていることを、今後はさらに事業所に落とし込んでいくことが望まれる。

②利用者・家族アンケート実施

過去に、法人内のグループホームの利用者アンケートを、大学と共同で実施したことがあるとのことであるが、事業所として単独でアンケートを実施したことはないとのことである。モニタリングの際などで、利用者・家族から、十分意向を把握しているとのことである。利用者・家族の中には、直接意見を言いづらいという場合があるかもしれないため、無記名でのアンケートを実施すると、声なき言葉を拾うことにつながる可能性もある。今後、大学との共同でアンケートを実施する予定であるとのことであるため、このアンケート実施を期待する。

⑥第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受けさせて頂き、事業所、法人の事を改めて見直す事が出来ました。評価結果の改善点を受け止めて事業所内でも統制を図っていきたいと思います。また、アンケートを実施し日々の支援の質も上げていきたいと思います。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)